

ゴム部品製造技術を福祉へ活用。錦城護謨株式会社、 令和7年度「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰（第24回）」 内閣府特命担当大臣表彰優良賞を受賞

視覚障害者歩行誘導マットをはじめとする、すべての人が安全で快適に暮らせるバリアフリー・
ユニバーサルデザインの推進が評価

家電製品のゴム部品製造において高い国内シェアを誇り、大阪・関西万博の夢洲地盤改良にも携わった錦城護謨株式会社（大阪府八尾市、代表取締役：太田泰造、以下「錦城護謨」）は、内閣府主催の令和7年度「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰（第24回）」において、内閣府特命担当大臣表彰優良賞を受賞しました。



画像の説明：左より高市早苗内閣総理大臣および黄川田仁志内閣府特命担当大臣と、表彰された全国15の個人・団体による記念撮影。黄川田仁志内閣府特命担当大臣より、錦城護謨株式会社 代表取締役・太田泰造が表彰を受ける様子。

授賞式は2025年12月24日に内閣総理大臣官邸で行われ、高市早苗内閣総理大臣も出席。本表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード・ソフト両面からバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点で、顕著な功績または功労のあった個人・団体を顕彰するものです。

令和7年度は、全国から15の個人・団体が表彰されました。

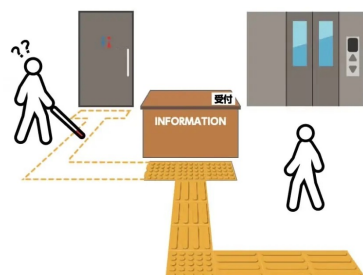
錦城護謨は、自動車、スポーツ用品、食品関係、医療機器など多様な分野におけるゴム部品製造で培った技術力を活かし、2007年より福祉分野への取り組みを開始しました。

屋内専用のゴム製視覚障害者用歩行誘導マット『歩導くんガイドウェイ』の製造・販売を中心に、視覚障害者の安全な歩行を支援する製品の開発および導入を行うとともに、公共空間や各種施設におけるバリアフリー環境の整備に継続的に取り組んでいる点が評価され、今回の受賞に至りました。

実は不十分な屋内移動のサポート——“受付の先”を支える誘導路

ゴム製視覚障害者用歩行誘導マットが誕生した背景には、60歳のとき後天的な理由で全盲になった開発者が、病院をはじめとしたあらゆる屋内移動において、誘導路がないことで自分ひとりでいきたいところに行けず、不自由さを感じたことにありました。

錦城護謨は当初、全国の営業所を活用した販売支援から加わり、のちに幅・素材・色の3点に改良を加えた自社製造の視覚障害者用歩行誘導マット『歩導くんガイドウェイ』を2007年より開発・販売する運びとなりました。歩導くんガイドウェイのほかに、同社が製造・販売しているトイレ誘導ライン『ガイドレット』、仮設用の歩行テープ『ココテープ』は、合理的配慮の実現を後押しするツールとして、今後さらに社会に普及していくことが期待されています。



画像の説明：左より誘導路が「受付まで」に留まるケースが多いことを表したイラスト。両面テープ付き仕様の歩導くんガイドウェイを設置している様子。

【内閣府特命担当大臣表彰優良賞（5件）】

今回の内閣府特命担当大臣表彰優良賞では、以下の5社が受賞しました

iPresence株式会社

錦城護謨株式会社

公益社団法人SSP

全国ろうあヘルパー連絡協議会

特定非営利活動法人ピープルデザイン研究所りんごプロジェクト

本件に関する内閣府公式発表はこちら：

- ・バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰について（内閣府公式サイト）

<https://www8.cao.go.jp/souki/barrier-free/hyousho.html>

- ・令和7年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰式（第24回）受賞者一覧（内閣府公式サイト）

<https://www8.cao.go.jp/souki/barrier-free/r07hyoushou/jusyosha.html>

- ・当日のレポート：首相官邸公式サイト『総理の一日』より

https://www.kantei.go.jp/jp/104/actions/202512/24bf_hyoushou.html

製品の詳細や導入事例は、公式サイトをご覧ください。

■『歩導くんガイドウェイ』Webサイト：<https://guideway.jp>



画像の説明：左より内閣総理大臣官邸内ホールの展示テーブルに設置された、屋内専用のゴム製視覚障害者用歩行誘導マット『歩導くんガイドウェイ』と説明ボード。「歩導くんガイドウェイ」の上をベビーカー、車いす、白杖利用者、台車が通行する様子。あわせて、これまでに受賞したアワードロゴおよび「歩導くんガイドウェイ」ロゴ。

会社概要

今年で創業90年を迎える錦城護謨は、家電製品のゴム部品製造で国内で高いシェアを誇り、土木事業では2025年の大阪・関西万博の会場用地 夢洲の地盤改良工事にも携わる。

創業以来培った「技術力」を基に、自動車、スポーツ用品、食品関係、医療機器など多様な分野で活躍し、大手メーカーのパートナーとして人々の暮らしを支えている。近年では、屋内専用のゴム製視覚障害者用歩行誘導マット「歩導くんガイドウェイ」を主力製品とする福祉関連事業や、割れないゴムのグラスで話題の自社ブランド「KINJO JAPAN」での新製品開発を通じて、世界展開にも挑戦している。



企業名：錦城護謨株式会社（読み：きんじょうごむ） 代表者：代表取締役社長 太田泰造

創業：昭和11年5月 事業内容：工業用ゴム部品の生産・販売、軟弱地盤改良工事（設計・施工・管理）、視覚障害者歩行誘導マットの製造販売・施工、自社ブランド「KINJO JAPAN」での新製品開発事業など

Webサイト：<https://www.kinjogomu.jp>

本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先

錦城護謨株式会社 ソーシャルイノベーション事業本部 バリアフリー推進課
小山 TEL：072-992-2328 MAIL：info_bf@kinjogomu.jp
WEB：<http://www.kinjogomu.jp>



リリース全文は下記URLより
最新記事をご覧ください

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/18023